

八代小の目指す教師像

- 1 児童の気持ちを察する教師
- 2 情熱を持ち続ける教師
- 3 自己研鑽に励む教師



八代小学校
学校だより

平成 26 年 6 月 2 日 NO3

「あたりまえだけど、とても大切なこと」

子どものためのルールブック

- ・前回の続きを紹介します。
- ・できる限り整理整頓をしよう
- ・宿題に文句を言わない
- ・代理の先生の授業でもルールを守ろう
- ・授業中は許可なく席を立たない
- ・先生に挨拶をしよう
- ・お客さまを歓迎しよう
- ・だれであれ、仲間はすれにしない
- ・叱られていては、人の方を見ない
- ・宿題の内容について質問しよう
- ・きれいに後片づけをしよう
- ・バスの中ではおとなしく座ってしよう
- ・人の名前をしっかりと覚えよう
- ・食べ物や物を欲ばって取らない
- ・だれかが何か落としたら、拾ってあげよう
- ・次の人のためにドアを押さえていよう
- ・公共の建物に入るときはおしゃべりしない
- ・訪問先では何かをほめよう
- ・集会ではおしゃべりしない
- ・電話の対応はきちんとしよう
- ・お世話になった人にはお礼をいおう
- ・エスカレーターでは左側に立とう
- ・全員で廊下を歩くときはおしゃべりをしない
- ・映画館では絶対におしゃべりしない
- ・学校にドリトスを持ってこない
- ・いじめられたら知らせてほしい
- ・信じるもののため、人生を楽しもう
- ・前向きに生きて、人生を楽しもう

後もう少しです。お付き合い下さい。

- ・したいことがあるなら、やってみよう
- ・まちがいを受け入れよう
- ・いつも正直でいよう
- ・現在を楽しもう
- ・君のなれるもっとすばらしい人間になれ

いかがだったでしょうか。私は、日本とアメリカの国民性の違いを感じる項目もありましたが、子育てで大切なことの大半は、文化圏が違ってても同じだと言うことを感じました。

自分の子どもに対し、親としてこれだけは譲ることのできない大切な価値観を、子どもが面倒くさがっても、いやがっても、根気強く示していきたいでしょう。

また、これらの内容は、「子どものための」を「大人のための」と読み替えても通じることが結構多いかも知れませんね。

たかが昼休み されど昼休み

楽しいだけでなく、体力や社会性を育む大切な時間である昼休み。本年度は四十五分間を確保しました。自由な時間だからこそ、教室では見えない子どもの姿を見ることが出来ます。汗びっしょりになって走り回る子、一人で過ごす子、その子に寄り添う子、遊びをリードする子、わがままを通そうとする子、本の世界に浸る子、担任に一生懸命おしゃべりする子。先生にとっても、子どもを知り、信頼関係を作る大切な時間です。



